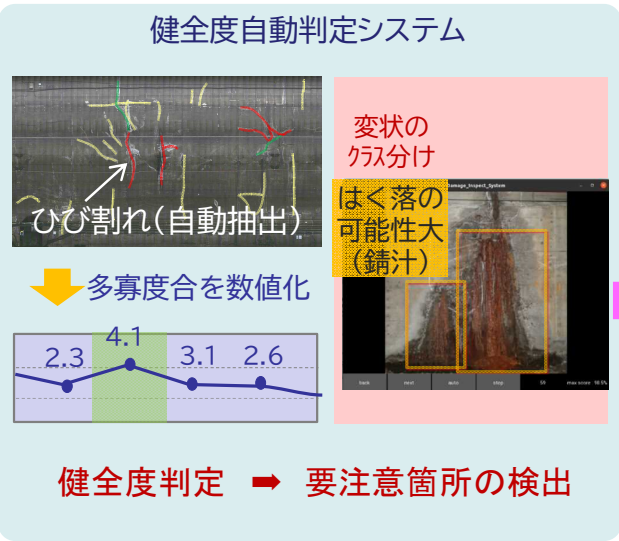
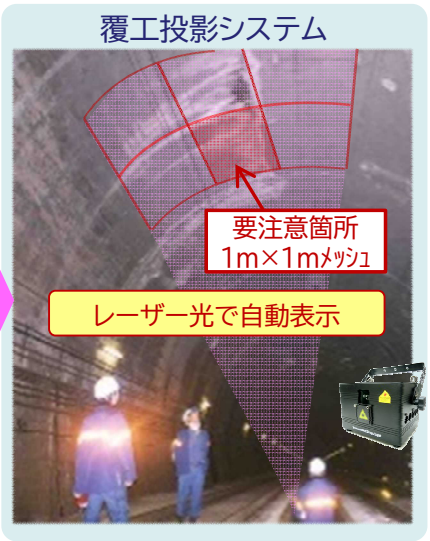


令和 3 年度交通運輸技術開発推進制度 新規研究課題の概要

採択課題名	画像を用いたトンネル健全度自動判定・要注意箇所表示技術の開発
研究実施者	鉄道総合技術研究所
概要	<p>○ 日本全国の鉄道トンネルを対象に、ひび割れや漏水の度合いを AI により自動的に判定する「健全度自動判定システム」や、レーザー光により要注意箇所を覆工側に表示する「覆工投影システム」を開発する。</p> <p>○ これにより、トンネルでの検査の省力化と高速化が可能となり、限られた人材・財源の中での適切な維持管理に寄与する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>健全度自動判定システム</p>  <p>健全度判定 ➡ 要注意箇所の検出</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>覆工投影システム</p>  <p>要注意箇所 1m×1mメッシュ</p> <p>レーザー光で自動表示</p> </div> </div>